



2022年11月4日

各位

会社名 新電元工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 吉憲  
 (コード番号 6844 東証プライム)  
 問合せ先 経営企画室企画部長 松原 功  
 (TEL 048 - 483 - 5311)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 連結業績予想の修正について

2023年3月期第2四半期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	51,500	2,400	2,400	2,000	194.04
今回修正予想 (B)	48,100	1,500	2,200	1,500	145.51
増減額 (B-A)	△ 3,400	△ 900	△ 200	△ 500	
増減率 (%)	△ 6.6	△ 37.5	△ 8.3	△ 25.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	45,882	3,487	3,390	3,404	330.31

2023年3月期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	108,000	5,700	5,700	4,700	456.01
今回修正予想 (B)	107,400	4,800	5,400	4,300	417.12
増減額 (B-A)	△ 600	△ 900	△ 300	△ 400	
増減率 (%)	△ 0.6	△ 15.8	△ 5.3	△ 8.5	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	92,168	5,562	5,828	5,902	572.70

## 2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間において、為替相場が円安に推移したことによる増収効果があった一方で、半導体不足や中国ロックダウンに伴い、自動車市場におけるデバイス製品の減少や四輪向け電装新製品の販売時期が遅れた影響などがあり、売上高は前回予想値を下回る見込みとなりました。損益面においては減収影響にくわえ、材料費や物流費が高騰したほか、不採算製品の整理に伴う棚卸評価損の計上などにより、前回予想を修正しております。

また、通期の連結業績に関しては、半導体不足の長期化に伴う減産影響がある一方、業績見通しの前提となる為替レートを1US\$=124円から下期は135円へ変更したことにより、売上高は前回予想と同程度を見込んでおります。損益面においては、為替効果がある一方、材料費や物流費、電気料金などの生産コストが期初の見込みより上回ることを想定し、前回予想を修正いたします。

なお、上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、業績予想は外的要因などにより、予期せぬ変動が生じる可能性があります。実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる可能性があることにご留意ください。大きな変動が見込まれる場合は速やかにお知らせいたします。

以上